

令和7年度 南魚沼市立赤石小学校 国際科に関する評価

<南魚沼市「国際科」のねらい>

外国人との英語によるコミュニケーションを通して相手の思いを受け止めたり、自国の文化や伝統の良さに気付いたりできる、『心豊かでたくましい児童生徒の育成』をすること

<校内指導の重点>

異文化に親しむ活動を通して互いの共通点や相違点を認め合おうとする態度を育てる。

I 国際科に関わる評価結果(2学期学校評価より抜粋)

・児童アンケート

外国のことに関心を持ち、国際科の学習に進んで取り組んでいるか。 A:肯定的な評価が 80%以上 B:肯定的な評価が 60%以上 C:肯定的な評価が 60%未満	よく当てはまる	52%	A
	だいたい当てはまる	34%	
	あまり当てはまらない	13%	
	ほとんど当てはまらない	2%	

・職員アンケート

毎回ALTと打ち合わせを行い、関わりのある授業を工夫することができましたか。 A:肯定的な評価が 80%以上 B:肯定的な評価が 60%以上 C:肯定的な評価が 60%未満	よく当てはまる	83%	A
	だいたい当てはまる	17%	
	あまり当てはまらない	0%	
	ほとんど当てはまらない	0%	

・保護者アンケート

お子さんは、外国のことに関心を持ち国際科の学習に進んで取り組んでいるか。 A:肯定的な評価が 80%以上 B:肯定的な評価が 60%以上 C:肯定的な評価が 60%未満	よく当てはまる	16%	C
	だいたい当てはまる	34%	
	あまり当てはまらない	34%	
	ほとんど当てはまらない	4%	
	よく分からない	12%	

2 成果と今後の課題

(1) 成果

- ・国際交流会で、低学年は、日本の遊びを披露したり、中学年は、既習の英単語を用いて自己紹介やゲームを行ったりなど、発達段階に応じて英語を使っのコミュニケーションを楽しんだ。
- ・5、6年生は、国際交流会で日本文化の紹介を継続して行った。自分たちで紹介したいことを決めることで、相手意識をもつことができた。英語で伝えたいことを表現するために、英語を調べる学習に自主的に取り組む様子が見られた。
- ・職員研修として6年生の外国語の授業公開を行った。学習を進める中で、国際大学に行き、学生に対して積極的にインタビュー活動を行った。また、6年生を送る会で在校生に自作の英作文を披露するために、ALT に自主的に質問する様子が見られた。

(2) 課題

- ・保護者アンケートの結果が年々低下している。国際交流会での子どもたちの感想や、外国語活動・外国語の学習に取り組む様子については今以上に、HP や学年だより、学校だより等で、保護者に積極的に紹介し、理解を得るようにしていく。
- ・低学年や中学年でも、国際交流会の準備や、外国語活動において、子どもたちが外国のことに関心を持ち、国際科の学習に進んで取り組めるように活動内容をコーディネートしていく。